平成元年12月3日（日）　第14号

りつめい
神奈川

発行 立命館大学
校友会神奈川県支部
〒211 横浜市神奈川区
鶴屋町 2－21－9
トーア㈱内 広報担当
（発行1800部）
☎（045）312－1321

平成元年度　忘年大会開催される

平成元年12月3日（日）ＰＭ5：00 ～ 山下町のホテル・アスターにて支部忘年大会が開催された。懇親会に先立ち、茂山哲也氏（31理工）のゴルフの講演があった。

名簿発刊なる

支部活動を活発にするためには、校友名簿の整備は不可欠である。委員一同、がんばって第2号発刊にこぎつけた。第1号が出されてから5年9か月。神奈川県は転勤・転居が多く、作成に多大な時間を要した。不備な点も多いが、お許し願いたい。
（車、上田、都築、橋本、長谷川）

第11回・第12回ゴルフの会開催される

・第11回　元年4月2日（日）
於 沼津国際ＣＣ
女性3名を含め、22名の参加。
優勝　飯田隆造（30経）
2位　池田嗣郎（33理工）
3位　田辺尚矩（37理工）

・第12回　元年9月10日（日）
於 沼津国際ＣＣ
優勝　仲本政淳（34理工）
2位　岸本哲夫（26法）
3位　鶴見一男（33経）
上田隆（41法）が初参加ながら見事、4位に入賞。参加20名。
（茂山）

第4回麻雀の会開催される

7月23日（日）横浜駅西口「シロ」にて開催。優勝は上田隆（41法）。
（上田）

支部総会（第8回）のご案内

来たる平成2年3月18日（日）、横浜駅西口・高島屋デパート 6F ミーティングサロン「ばらの間」にて行われる。校友また家族多数の出席をお願いします。
（幹事長　武田）

＜各支部の動き＞

・千葉県支部総会・・・元年10月7日（土）、千葉共済会館にて。国際関係学部長 竹内実先生の講演「中国の動向」の後、懇親会にうつった。
・東京支部総会・・・・元年11月23日（祭）、原宿の南国酒家にて。谷岡総長、廣校友会長はじめ多数の来賓を迎え、盛大に行われた。女子校友・家族の参加も多くなごやかなうちに閉会となった。

◎ 創立９０周年にむけて１人１口運動推進中。

平成２年５月19日、立命館は創始１２０年、創立９０年を迎えます。大学を発展充実させるため、募金活動を展開中です。全体では36億円（H元．10月）突破しましたが、理工学部移転（H５年）も決定いたしました。多大な費用が必要です。神奈川県支部では１人１口（３万円）運動を推進中です。まだの方は、出費多端な折とは思いますが、是非ご協力下さるようお願い申し上げます。

募金活動委員長　斎藤寿弥（27経）
同　事務局長　車　宗成（32法）

勝田支部長個展開かれる

支部長の個展が右記のように銀座・資生堂ギャラリーにて行われます。売上金は90周年記念事業へ全額寄付されます。また３万円以上大学に寄付された方は、支部長より版画が、金額に応じて作品が贈呈されます。

勝田寛一展

1989年12月18日(月)～23日(土)
11:00AM～6:30PM

資生堂ギャラリー

作家住所
相模原市南台
４－９－11

東京都中央区銀座
８－８－３
☎ 03－572－2121

立命館と西園寺公望展

主催　立命館大学

1．期　日　平成２年10月~~18~~11日（木）～10月~~23~~16日（火）
2．場　所　日本橋高島屋

このごろ想うこと

相談役　相澤良信（30理工）
トーア㈱　代表取締役

ボートピープルの漂着は、日本にとって新たな課題を投げかけているようです。アジア各国にとって、現在の日本は〃金のなる樹〃に想えるようで、先のベトナム難民を装った中国人グループの証言は端的に、その意を表わしていたようです。「日本で働けばお金が稼げる」、例え高い密出国費を支払っても、日本に着きさえすれば何とかなる、といった強引な日本上陸組もさることながら、日本で学びながら労働を、と考えている外国人も急増しております。そこで、私達自身が考えてまいらねばならない事に、私達の職業観なり、生き方、豊かさへの甘えがあるように想えます。昭和二十年代から三十年代にかけて、若者達は職を求めるために、ハングリーさを露骨に表わしていたように思います。そして成長期、努力すれば、より高い地位と、豊かな生活を得られるとばかりに、働き、努力していたようです。勿論現在もその姿勢は決して損なってしまっているとは申しませんが、どこか希薄に映り始めております。若い世代の話しになりますが、学校を卒業しても、すぐに就職をしない若者、超大企業に就職しても、半年、三年で簡単に職を辞してしまう。「残業や苦労の多い仕事はイヤ、とばかりの行動」が目立ちます。確かに、人手不足の時代ですから、次々に新しい職場にめぐり逢えるでしょう。でもその一方で、何かを失っていくようにも想えるのですが。それに加えて外国人労働者や学生の受け入れに、判然とした態度と姿勢を打ち出せないでいる政治、日本は今、大きく門戸を開かざるを得ない時代に入りました。ボートピープルによって教えられることの多いこの頃です。私達自身の生き方、暮しも確実に様変りし始めているようです。

立命2位に終る　関西学生野球リーグ

9月9日(土)から行われた秋季関西学生野球リーグは、10月23日(月)立命が同大にサヨナラ勝ちし、閉幕した。立命は近大の連勝にストップをかけたものの2位に終った。

	立命	同大	京大	近大	関大	関学	勝点	順位
立命	★	●○○	○○	●○●	○○	●○●	3	2
同大	○●●	★	○○	●●	●●	○●○	2	5
京大	●●	●●	★	●●	●●	●●	0	6
近大	○●○	○○	○○	★	○○	○○	5	1
関大	●●	○○	○○	●●	★	●○○	3	3
関学	○●○	●○●	○○	●●	○●●	★	2	4

関西学生野球

立命がサヨナラ勝ち

二十三日、西京極球場で同大—立命3回戦を行い、立命が延長十回、2—1でサヨナラ勝ちして三つ目の勝ち点を挙げ2位となった。

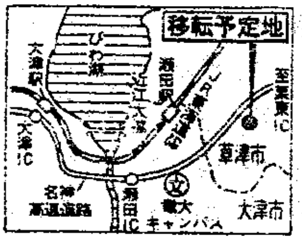
全日程を終了し、順位は六連覇の近大以下、立命、関大、関学、同大、京大となった。

産経新聞　1989. 9.19

夕刊　産経新聞

立命大も滋賀・草津に移転

理工学部、平成6年開学へ


移転予定地

関西の名門私立大、立命館大学（本部・京都市北区、谷岡武雄総長兼学長）が、平成六年をめどに理工学部と同学部の大学院を現在の衣笠キャンパス（同市北区等持院）から滋賀県草津市内に移転することが決まり、十九日、同大学と受け入れ側の滋賀県から同時に発表された。移転先は、同県が学術・文化の集積拠点として整備している大津市南部の「びわこ文化ゾーン」に隣接する草津市野路町。民間企業の所有地約三十四㌶をまず大学側が企業から買収、その費用と粗造成費など約百億円を滋賀県と草津市で肩代わり負担する。同県大津市内には今春、龍谷大学（本部・京都市）の理工学部と社会学部が移転、開学したばかりで、相次ぐ名門大学の進出に地元は沸いている。

びわこ文化ゾーン隣接

立命館大学は、一部（七学部、一万八千五十人）、二部（五学部）合わせて学生数が二万六百七十九人。キャンパスが手狭になったのをはじめ、各学部の充実を主な理由に昨年から移転を計画。京都府をはじめ大阪、滋賀で候補地を物色していた。

滋賀県では、こうした大学側の動きを受けて県内四カ所の候補地を大学側に打診、今年三月、同大学関係者が候補地を視察した。この結果、草津市野路町が▽文化ゾーンに隣接し、ゾーン内にある県立図書館などの施設に恵まれ、学術研究に適した環境にある▽交通の便がよく、学生も集まりやすい—などの条件から同地区への移転に意欲を示し、同県の積極的な誘致活動もあって実現。大学側ではすでに土地買収について、所有者の企業側から内諾を得ている。

計画では、現在一学年六百九十人の理工学部定員を移転を機に一学年千人に増大、大学院も合わせて増員し、総勢五千八人にする。

大学、県とも平成三—四年に学舎の建設に着手し、同六年の開学を目指す。

滋賀県ではこの四月、大津市瀬田大江町のびわこ文化ゾーンに龍谷大学の理工学部と社会学部が移転、開学したばかり。立命館大学の移転地は龍谷大学（瀬田キャンパス）の東北約二㌔の地点。

なお、衣笠キャンパスは、理工学部移転後は、他の六学部の充実のために利用する。

谷岡武雄・立命館大学総長の話　「京都に生まれ、京都で育った立命館は京都を離れることはない。しかし、工場等制限区域にあたる今の校地では新しく施設をたてることが不可能なため、滋賀県に理工学部を移転し拡充することにした。衣笠校地には理工学部にかわる、新しい学部、人間科学系統あるいは政策情報系統の学部を新設して京都市内における全生徒数は減らさないので、今回の移転は京都市内からの流出とは全く違うものだ」

全国で活躍する校友

郷味津々

どぼ漬け　（京都府）

十四年前から東京に住んでいますが、生まれ育ったのは京都。だから、漬物には目がないんです。最後にこれでお茶漬けをサラサラやらないと、どうも体が締まらない。みぶ菜、すぐき、千枚漬、うまい漬物はあれこれありますが、今、うちではもっぱら「どぼ漬け」です。

瀬戸物のつぼに、ぬかと塩水をよく混ぜて入れ、しばらく寝かせてから、その〝ぬかどこ〟にキュウリやナスを漬け込むのです。六時間から八時間漬けた浅漬けを楽しんでいます。

ハクサイやキャベツも結構いけますよ。ただ、キュウリは、京都のものの方が皮が軟らかいような気がしますね。

古里に戻った時は必ず漬物を買って帰りますが、名店街にあるような大きな店よりも、あまり目立たない所にある店の品の方がおいしいですね。

漬物のほか、うどん、ひろうす、ハモなど京のうまいものはいろいろありますが、極致はやっぱりマツタケご飯かな。また、京都という地は、素材をうまく料理する所。だから、中華料理でもフランス料理でも京都のはうまいんですよ。

杉田　二郎さん　歌　手（立命館大・文卒）

日本経済新聞

1989年（平成元年）11月10日（金曜日）

都銀、地銀がリテール（小口金融取引）分野で攻勢を強めているが、「人と人とのつながりの中で提供する金融サービスはわれわれにしかできない」と、信用金庫では資金量全国一、二位の城南、京都信用金庫を追う。

入庫以来、営業畑を歩いた。昭和四十年に三十三歳で三条支店長に就任、四十五年、信金の単独店舗としては全国初の預金百億円を達成した。

「なせばなる。なさねばならぬ何事も」が信条。三条支店長時代は「率先垂範を心がけ、だれよりも早く出勤、最も遅く帰った」という。仕事にはモーレツに厳しいが、部下の親の病気回復を願って滝に打たれるなど、「親分肌で義理人情にあつい」エピソードにもこと欠かない。

☑―信頼感と親しみやすさ追求

京都中央信用金庫理事長　**道端　進氏**

▼みちはた・すすむ＝昭和28年立命館大経済卒、29年京都中央信用金庫入庫。44年理事、54年常務理事、61年副理事長。趣味は写真、謡曲、ゴルフ。一男二女がいる。石川県出身、59歳。

「地域でナンバーワンの金融機関」が理事長としての目標。資金量など規模の追求も大切だが、「信頼感とか親しみやすさ」といった面で、京都銀行や京都信金などに負けたくないと語る。営業現場に[illegible]した[illegible]に目を光らしながら、「金融の自由化、国際化に対応できるノウハウや体力も蓄えていかないと」と、来年迎える創立五十周年以降の戦略を練る。

趣味の写真は「美人ばかり撮っていたこともあるが、最近は花、神社仏閣、仏像がテーマ」。毎月社内報を飾っている。（H）

翫正敏談

社会党上昇気流にのり、参議院比例選で初当選。住職もしているので国会開会中、檀家に不幸があったら大変だ。

社会

翫（いとう）正敏（まさとし）42　社　新❶

①真宗大谷派正光寺住職②測量士③立命館大理工④石川県

三田村先生逝去す

元年９月23日

三田村泰助氏（みたむら・たいすけ＝立命館大名誉教授・東洋史）二十三日午後九時十二分、肺炎のため、埼玉県大宮市の大宮総合病院で死去、七十九歳。葬儀・告別式は二十六日午後零時半から大宮市盆栽町一四二ノ三の自宅で。喪主は長男良太（りょうた）氏。

昭和二十四年から五十五年まで立命館大教授。満州史の権威で著書に「宦官（かんがん）」「清朝前史の研究」など。

1989年（平成元年）11月22日（水曜日）　夕刊　読売新聞

社会主義国の[illegible]

中国　皇帝型の安定構造

民衆は無政府的対応

中間知識層の活動も続く

たけうち　みのる
竹内　実

天安門事件は、たしかにひとびとを驚かせるできごとであった。最近の東欧から西欧への人間の流出と比較して、いっそう悲劇的であったとの感を深くせざるをえない。

事実の経過をしらべなおすとともに、民衆や指導者の心理の深層にまでたちいった分析が必要であろう。

事件は、北京で発生したが、これを中華人民共和国の首都で起きたとみるか、または、中国大陸＝中華世界において、明代から皇帝の居城であった、その朝廷で起きたとみるかで、ずいぶんとちがってみえてくるであろう。

映画「ラスト・エンペラー」は、皇帝の居城の政治的機能の一端を、広大な内庭に跪（ひざまず）く臣下たちをうつしだして示したが、現代の天安門前の広場も一種の政治的象徴性をもち、その象徴性によって、学生たちや市民たちを吸引した。学生は要求書を提出するにあたって、広場の西側の人民大会堂の幅広い石の階段に跪いた（四月二十二日）。

民主化を要求する世代が、民主化を要求する文書を提出するにあたって跪いたというこの事実によっても、事件を中華世界にはめこんで分析しようとすることは、あながちに荒唐無稽（こうとうむけい）でないといえるとおもう。

さて、つぎのような議論がある。中華人民共和国は「共和国」である。以前に中国大陸＝中華世界を支配し、現在も台湾に政府を構える「中華民国」もまた「共和国」である。

政権が変わっただけ

「中華民国」以前は「皇帝」がこの世界に絶対的権威をもって君臨していたから、清王朝が共和国に切りかわったことは「国体」の変更であった。しかしながら、「中華民国」から「中華人民共和国」への切りかえは、「国体」の変更ではない。それは「政権」の変更であって、「国体」の変更ではない。したがって、中華人民共和国の成立は、新しい「国家」の誕生ではない。

以上のように、「国家」と「政権」をきびしく区別し、現在の中国大陸＝中華世界の政治を分析しているのは、余英時（ユィ・インシー）プリンストン大学教授である。

そういえば、毛沢東が生前に「中華民国の国号を改めないほうがよかった」と語ったと、なにかで読んだ記憶がある。政治の正統性から議論を発しているのである。わが福沢諭吉はこの概念についてつぎのようにのべている。

〈国に「ポリチカル・レジチメーション」ということあり。「ポリチカル」とは政の義なり。「レジチメーション」とは、正統または本筋の義なり。いまかりに、これを政統と訳す。すなわちその国におこなわれて、あまねく人民の許す政治の本筋ということなり〉（「文明論之概略」岩波文庫。引用にあたっては漢字をへらし、句読点をふやし、現代かなづかいに改めた）

中華民国が成立したあと、軍閥割拠の時期があった。そのとき、しきりに問題にされたのが、「法統」であった。強者が勝利する軍閥といえども、正統性についての連続的な自己防衛を忘れなかったのである。

近代化された王朝！

余英時教授の議論は、さらに一歩すすめて、いう——現代社会における政府は選挙によって合法性を維持するが、北京の共産党はこれを実行しないから、伝統的な王朝となんら異ならない。せいぜい王朝が近代化されたものとみるべきで、外来思想によるレーニン型の組織、マルクス主義のイデオロギーでは民衆の意志を表現する機会があたえられない。

右のような、余英時教授の議論は、中華世界に存在し、継続してきた文化的特色であるところの「士（し）」＝知識人の立場に発している。「士」は明治維新の推進力になった下級武士層に相当しよう。貴族には属するがもっとも低い階層に属し、その下は庶民である。武士とはちがい、文化的教養をもって社会的に機能する。

中国共産党による革命は、伝統的な「士」を産みだす農村の小地主、都市の中産階級、教師といったものの社会的基盤を根底からくつがえしたが、しかし、「士」の思想的な水脈は現在にまで、まだ絶えていない。装甲車や戦車を阻止した、北京の市民のなかにも、それは地下水のように浸透していよう。

ただし、福沢諭吉は「立君の政治、必ずしも良ならず、合衆の政治、必ずしも便ならず」といっている（前出六十四頁）。傾聴に値する意見である。

民主化に反対するわけではないが、中華世界における権力は、強力強大ならざるをえないとおもう。毛沢東はこの「皇帝型権力」を体現し、鄧小平が継承した。これに対応する民衆は、必然的に超越的になり、無政府的にならざるをえない。

強力な権力とアナーキーな民衆の結合が、結局この世界における「国家」の安定した構造ではないか、とわたしは天安門事件以後、ひそかに考えた。しかし、権力と民衆の中間に「士」が存在したのであった。

おそらく、この「士」の精神は、今後とも、北京の政治動向を陰に陽に、ゆさぶりつづけるであろう。

…………

立命館大学教授・中国文学、現代中国論　一九二三年中国山東省生まれ。著書に「毛沢東」「中国の思想」など。

―― 校友会活動を考える ――

早大、40万OB向けカード

◆公開講座を優待
◆OBの店で割引
◆弁護士の紹介も

大手5社と提携

手数料で奨学金

カード時代に対応するため、早稲田大学（西原春夫総長）と同大校友会が、四十万人近くに達する同大の卒業生や教職員らを対象に、大手カード会社五社と提携して「早稲田カード」を発行することを決めた。通常のクレジットカードとして利用できるほか、大学の施設を割引で使えるなどの特典がある。総合大学が全卒業生向けに提携カードを発行するのは初めて。同大はカード会社から入る提携手数料を在学生の奨学金にあてる。

提携するのは三和銀行系の「JCB」、住友銀行系の「VISA」、三菱銀行系の「DC」など大手カード会社五社で、卒業生はこの中から一社を選び、そのカードと提携した「早稲田カード」を持つことができる。

独自の特典としては、大学の施設を安く優先的に利用できるほか、公開講座の割引、卒業生向けの雑誌の配布、卒業生が経営・勤務するホテルや飲食店での割引、弁護士事務所の紹介サービスなどが予定されている。

カードの募集は九月から。申し込むためには校友会に加入しなければならず、同大は校友会の組織率アップも狙っている。

「早稲田カードの発行を発表した翌日から電話が殺到しまして」。反応が少なく、苦労した創立百周年記念事業の募金に比べ、今度の企画は図に当たった。

クレジットカードを希望する校友をカード会社にあっせんして、手数料を奨学金に充てる。カードには一般の機能のほか、大学施設や公開講座、校友経営のホテル利用が割引になるなどの特典もある。一方、カード会社は大口契約が見込める、「一石三鳥」のアイデア。

寄せに求める寄付金と違って、「特典」もつくこのカード入会は、必ずしも愛校精神の発露でもなさそうだが、「いま、早稲田は関東以外の学生がわずか三八％。いかにして多様な個性を集めるかが悩みです。入学制度の工夫とともに、経済面でも地方出身者を支援できれば……」と、期待は熱い。

もう一つの期待は、校友会組織の拡大。現存三十五万卒業生のうち、会費を払っているのは六万人。「百周年事業の募金で組織の不備を痛感させられまして」。「薄まり散じて」いった卒業生を、カード契約とともに校友会員にとり込む狙いもある。

立命館の卒業生は17万人。
立命カードができるといいですね。
校友の皆さん、そう思いませんか。

編 集 後 記

- 先日、授業で教室に入るや否や「先生！リツメイカンて知ってる！」「なぜだ。」「アメリカ横断ウルトラクイズ（日本テレビ）で立命館大学が優勝したのです。」「知っているよ。先生の母校は立命館だよ。」「先生ってスゲーッ。」
- 私が勤務する高校では、事務室に３～４年毎に六法全書が購入されている。今までは有斐閣のものであったが、今年は岩波六法全書（大版）になった。事務長曰く先生が、がんばっているから。と。我々、ＯＢのできることは寄付もあるが、各職場でがんばって立命館の評価を高めることです。
- 年末賞与から１人１口運動に協力して３万円寄付することにした。母校の発展を願って。
- 今回（14号）の発行は、名簿発刊と重なり大変だった。間にあって本当によかった。
- 厳寒の候、校友・家族の皆様、健康には気をつけておすごし下さい。

（長谷川）